

2/15 04合奏

1.じゅげむ(13:00～14:05)

・通し

井上くんは中間部が好き
中間部3.4拍目のテンポ感意識する
歌い方の上手な先輩には90°お辞儀する

・伴奏隊--中間部

△のあるところないところの違いを意識する
単調にならないように
53小説目の動き、次に繋がるように
歌い方は楽譜通りに
(楽譜にないスラーなどつけない)
フレーズの切れ目で歌い方を変える
ベース中間部の3.4拍目の歌い方
中間部後半の動きグロックン意識する
裏メロがメロディ16分が走らないように重く

・メロディ--中間部

対話をもっとしよう
→メロディにストーリー性を
→自分より前の同じフレーズを吹いてる演奏をリスペクトする(寄せに行く)
4つ以上八分音符がついてるところで走らない
mp<mfは音量だけでなく、響きや動きにも気をつける
下降音形は木の葉が落ちるように 🍂
16分音符遅くならない

・後半部

60小説からメロディ アクセント意識
63小説目1拍目 違いを出すために休符を意識
63～66 スラー意識
前半と違う動きは違いを強調する

2. sing sing sing(14:15～14:45)

・通し

全体のテンションについて
Cで落ち着く→Eフルパワーへ
F音量落としてCIメインに
Hソロの余韻残したまま8割で
I一回目7割 2回目フルパワー
K一回目4.5割で(Tpメイン)2回目8割で
P2回目9割で終わる雰囲気出す
Qまだまだあるよ感を出す
テンション上げつつSに突入
S2回目でフィナーレ感9割
3回目おかわり120%で

・A-E,M-N,Qのテンション確認

ドラムにテンション合わせる

Q 2拍三連ドラム聴く

S休符とはっきり区別つける

3.祝典への前奏曲(14:55～16:00)

・通し

各々確認

・1-76まで順に

1-9

Tp入りははっきりと

てんぽおくれしない

9-18

メロディーの歌い方統一する

18-24

ff,mp,pの幅をつける

24-44

八分音符の動きの人走らない、一音目強くしない

ドラムは一人二役なのでテンポを一任しない

神ホルン→船の出発の音みたいな始まり感